

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書
【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

みどりと健康の家

グループの名称

宮崎「みどりと健康の家」協議会

直近採択グループ番号

06-0484-0783

(グループ代表者)

代表者名

久保 光一郎

代表者印

代表者所属先

久保産業株式会社

代表者所在地

宮崎県都城市五十町1388番地

代表者電話番号

0986-22-4466

(グループ事務局)

事務局事業者名

久保産業株式会社

事務局担当者名

田村 幸二

印

事務局郵便番号

885-0084

事務局所在地

宮崎県都城市五十町1388番地

事務局電話番号

0986-22-4466

事務局FAX

0986-22-4470

事務局担当者E-mail

tamura@kubo-sangyo.jp

B. 平成30年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数 (必須)	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		7	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	7	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		3	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	3	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸		
	長寿命型	長期優良住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		6	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	3	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)			戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸		
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)			戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)		戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)			戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸		
		高度省エネ型	認定低炭素住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		4	戸	
					加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	3	戸	
						上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸	
					その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		1	戸	
					加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸	
						上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸	
高度省エネ型	性能向上計画認定住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)			戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)		戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)			戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸			
高度省エネ型	性能向上計画認定住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)			戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)		戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)			戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸			
高度省エネ型	ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限125万円)		6	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	6	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)		1	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸			
高度省エネ型	ゼロ・エネルギー住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限140万円)		2	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	1	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)			戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸			
C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数		今年度要望する棟数及び面積		棟				
		その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積		棟					
事務局にて抽選を行い、1棟ずつ配分を行う。以降は先着順とする。									
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール (必須)									
E. 平成29年度の執行状況 (必須)	長寿命型(長期優良住宅)								
	採択戸数	3	戸	交付申請戸数	3	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)								
	採択戸数		戸	交付申請戸数		戸	完了実績(竣工予定含む)戸数		戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)								
	採択戸数		戸	交付申請戸数		戸	完了実績(竣工予定含む)戸数		戸
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)									
採択戸数	2	戸	交付申請戸数	2	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸	
優良建築物型									
採択棟数		棟	交付申請戸数		棟	完了実績(竣工予定含む)棟数		戸	
採択床面積		m ²	交付申請床面積		m ²	完了実績(竣工予定含む)床面積		m ²	

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) みどり与健康の家	(地域型住宅供給対象地域) 宮崎県、鹿児島県
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 宮崎「みどり与健康の家」協議会	(結成年) 2015 年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	06-0484-0783	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	断熱性能を重視し、補助対象住宅以外に於いてもよりよい性能を追求する。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	主要構造部は乾燥材を使用する。 降灰対策を行う。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	降灰対策として1. 室内干し設備の設置、2. メンテナンス用として外部水栓又は雨水タンクの設置、3. 日射対策としてグリーンカーテンやすだれフックの設置、1～3のいずれか一つ以上を設置する。	◎
④①～③の背景	主たる建築地である宮崎県は平均気温が高く、日照時間、快晴日数は全国でもトップクラスである。豊富な太陽光を利用すると共に、夏季の暑さ対策は必須である。 快晴日数は多いが、年間の降水量においても全国上位となっている。 また、宮崎県では概して冬の断熱に対する意識が未だ低く、浴室におけるヒートショック対策も必要である。 それに、宮崎県では桜島噴火・新燃岳による降灰の影響を受ける。	
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	内外装の一部に、木材を利用したカウンターや棚、目隠しなどを設置する。 東日本大震災以降は東北産材の使用も推奨している。	◎

イ. 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備

【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 主要構造部は乾燥材を使用し、事務局を中心に標準寸法の在庫を行っている。	◎
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 標準仕様書を作成して設備をある程度統一する事によってコスト削減を行う。	◎
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 標準仕様書(パンフレット)を作成して、基準となる設備等を提案している。	◎
②-1 建材・資材調達共同化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 事務局を中心とした流通体制が確立されている。	◎
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 事務局を中心とした流通体制が確立されている。 また、標準仕様書を元に提案を行い、機器、資材の共通化に努めている。	◎
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 会員向けに新制度の情報や、新商品の勉強会を開催する。 国交省等のメールマガジンに登録し、会員にいち早く発信する。	◎
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 木材の標準寸法の在庫や流通、情報発信を事務局を中心に行っている。	◎
b		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 信頼性向上の為に、補助対象物件以外でも同等の性能をもつよう努める。	◎
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施工後引き渡し前に施主立会いの下で内外装、設備の検査を行う。	◎
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 建材等は標準仕様書に品番、メーカー、定価等を記載し、検索性を向上している。 見積もり項目は出来るだけ詳細に記載し、業界用語等を排除した分かりやすい見積もりの作成に努める。	◎
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局で開催する展示会に会のブースを設置し、会のコンセプト等を発信する。 統一の標準仕様書(パンフレット)を作成して、会の周知を行っている。	◎
c		
① 週休2日制の導入の取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 労働者の健康確保やワーク・ライフ・バランスの改善、また将来の担い手を確保するためにも、休日数を増やし、より働きやすい職場環境にする為、完全週休2日制の導入に向けた働き掛けを行なう	○
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 仕事ぶりや能力が適正に評価されて、意欲をもって働けるように、厚生労働省の推奨している「同一労働同一賃金」に向けた具体的な、人事考課制度を検討する	◎
③ 社会保険への加入	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 平成28年10月より適用条件が拡大され、今後も 社会保険に関する法改正が進んでいる事を踏まえ、適用条件の再確認と、加入に向けた取組を行なう	○
④ 安全及び健康の確保のための取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 現場ごとに施工方法が異なる為、建設工事の現場の施工条件を十分に調査した上で、建設工事従事者の安全及び健康の確保に配慮した施工方法を検討する	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	建設工事従事者の高齢化が進行している中、建設業を魅力的な仕事の間とし、処遇の改善や技能・技術の振興を含めた地位の向上を図りつつ、中長期的な担い手の確保を進めていくことが急務である	○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) みどりと健康の家	(地域型住宅供給対象地域) 宮崎県、鹿児島県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 宮崎「みどりと健康の家」協議会	(結成年) 2015 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0484-0783	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成30年度対応方針】			◎、○ 記入欄	
a	① 住宅蓄積履歴情報の	①-1 内容・蓄積の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 住宅履歴情報機関を利用して、事務局と工務店が点検時期を共有し、住まい手への告知を確実に進行。	◎
		①-2 情報サービス機関の活用	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 各種住宅情報機関を利用する。会の推奨はプロパティオン様とする。	◎
		①-3 履歴情報蓄積の確認手法	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 全棟住宅情報機関を利用する事により行う。	◎
	② メンテナンス基準	②-1 点検の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 建築士、建築施工管理技士等の適切な有資格者が点検を行い判断する。	◎
		②-2 補修の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 点検と同様に行い、必要と認められる場合は情報を会で共有する。	◎
		②-3 点検補修実施の確認手法	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 事務局主催の勉強会を行い、点検補修事例の情報を共有する。	◎
	③ 住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 事務局主催の勉強会を実施する。	◎
		③-2 DIY体験会等の実施	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 事務局による展示会で会のブース以外にも木育ブース等を設置する。	◎
		③-3 その他の相談会等の実施	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 事務局による展示会で会のブースを設置し、情報発信や一般の相談を受ける。	◎
	④ 維持管理委員会等の設置	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 会の運営委員会がその任にあたる。	◎	
⑤ その他の維持管理の手法	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 地域型住宅のリフォーム工事が発生した場合は、リフォーム瑕疵保険の利用を提案する。	◎		
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 事務局が開設する相談窓口の利用を促し、代替事業者の斡旋を行う。	◎	
	② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: a②～③同様に事務局主催の勉強会を行う。	◎	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。				

エ. グループの技術力の向上

【平成30年度対応方針】			◎、○ 記入欄
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 運営委員会開催に合わせて、未経験工務店をサポートする勉強会を開催する。その他情報は事務局より発信する。	◎
	②-1 品質管理のための共通ルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 事務局により、特に未経験工務店向けのサポートを行い品質管理に努める。	◎
	②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 事務局ならびに運営委員会により行う。	◎
	③-1 需給計画の策定	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 全国、特に南九州地域の着工棟数を基に行う。	◎
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 昨年度より施工工務店数が1社増加している。経験工務店との施工、瑕疵等に関する情報を共有する事により技術力向上に努める。	◎
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 標準仕様書と勉強会より施工、機器選定等の情報共有に努める。	◎
	b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数 14 今年度の参加目標人数 3
①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数		昨年度までの終了者数 1 今年度の参加目標人数 1	○
② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組		<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 事務局で対象者を把握し、開催日時等の情報提供を行う。	◎
c	① 新たな技術等の導入	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 新資材や工法についての勉強会を開催し、情報を共有する。	○
	② 新たな技術等の開発	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 施工後の温湿度等を測定し、情報を蓄積し共有する。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) みどりと健康の家	(地域型住宅供給対象地域) 宮崎県、鹿児島県												
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 宮崎「みどりと健康の家」協議会	(結成年) 2015年												
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0484-0783													
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。														
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与														
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄												
a	<p>① 地域材利用に関する共通ルール(必須)</p> <p>・地域材とは宮崎県及び近隣県の杉または桧の合法木材かつ乾燥材とする。 ・主要構造部(柱、土台、梁・桁)の80%以上に地域材を使用する。 ・横架材等について設計または調達に問題がある場合にのみ、構成員より調達した他県産の杉または桧の合法木材かつ乾燥材を地域材として使用する。</p>	◎												
	<p>② 地域材利用の1棟当たりの割合(必須)</p> <p><input type="checkbox"/> 50%未満 <input checked="" type="checkbox"/> 50%以上 <input type="checkbox"/> 80%以上</p>	◎												
	<p>③ 標準的な地域材の使用部位(必須)</p> <table border="1"> <tr> <td>主要構造材</td> <td>土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>羽柄材</td> <td>間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>造作材</td> <td>枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>板材</td> <td>壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> </table>	主要構造材	土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している		柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している		梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している	羽柄材	間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	造作材	枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	板材	壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	◎
主要構造材	土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している													
	柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している													
	梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している													
羽柄材	間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している													
造作材	枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している													
板材	壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している													
	<p>④ 地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明</p> <pre> graph TD A[Ⅰ 原木供給] --> B[Ⅱ 製材・集成材・合板製造] B --> C[Ⅳ プレキャスト] C --> D[Ⅵ 施工] B --> D E[事務局チェック] --> B </pre> <p>使用地域材が適切であるかは事務局が取りまとめ、チェックする。</p> <p>構造材が手加工の物件はプレカートを經由しない場合がある。</p>													
b	<p>①-1 地域材在庫把握の仕組</p> <p><input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が流通の中心として把握する。</p>	◎												
	<p>①-2 地域材価格の共有の仕組</p> <p><input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 構成員を中心に情報を得て、事務局より需給状況を合わせて発信する。</p>	◎												
	<p>② グループ全体における地域材の需給予測</p> <p><input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 建築着工数を基に行う。</p>	◎												
c	<p>①-1 畳の活用</p> <p><input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(1畳換算) 100枚</p>	○												
	<p>①-2 和瓦の活用</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:</p>													
	<p>①-3 襖の活用</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:</p>													
	<p>①-4 障子の活用</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:</p>													
	<p>②-1 その他地域の伝統的な素材の活用</p> <p><input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 火山灰に由来するシラスを用いた内外装材を使用する。</p>	○												
	<p>②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:</p>													
d	<p>① 地域の伝統的なデザインを継承する取組</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:</p>													
	<p>② 地域の住まい方の継承につながる取組</p> <p><input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 豊富な日照時間を利用する為にウッドデッキを設置する。その際は油分が多くシロアリに強い特性を持つオビシギを利用する。</p>	○												
	<p>③ 地域の街並み形成へ寄与する取組</p> <p><input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 板塀や生垣、植栽を利用した緑化に努める。</p>	○												
	<p>④ 和の住まいの要素を取り入れた取組</p> <p><input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 日本住宅総合センター「今に生きる日本の住いの知恵」等の和の住いに関わる資料や情報を事務局より発信する。</p>	○												
	<p>その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。</p>													
カ. その他														
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄												
東日本大震災の復興に資する取組	カウンター材や壁板等の内外装一ヶ所以上に東北産材を使用する。	○												
平成28年熊本地震の復興に資する取組	事務局のある宮崎県は隣県として普段より熊本県産材も使用している。熊本県産材を使用する場合は表示する等の周知により支援する。	◎												

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	(地域型住宅の名称) みどりと健康の家	(地域型住宅供給対象地域) 宮崎県、鹿児島県
2. グループの名称・結成年月 (必須)	(グループの名称) 宮崎「みどりと健康の家」協議会	(結成年) 2015年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号 (必須)	06-0484-0783	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴
 ※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。
 ※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

認定低炭素、ゼロエネルギー住宅イメージ

LED照明 高効率エアコン 室内干し設備 地域緑化 雨水タンク 板塀、植栽等

カウンター等に東北産材

- ・会の定めた目標基準に則り建築を行い、地域の特性としての降灰対策を行う。
- ・また、被災地対策として東北産材、熊本産材の利用を推奨する。
- ・その他詳細は適用申請書に従う。

一次エネルギー消費削減率	6地域	R 101%	RO 20%
	7地域	R 103%	RO 21%

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。